

今後の交流に大きな期待



常任委員会研修レポート

台湾 視察

～「金陵女子高級中学」の省エネの取り組み～



日本語を学ぶ生徒と教職員、議員一行

輝くふるさと常任委員会（鈴木満委員長）は11月18日から11月22日までの4泊5日で、台湾の研修視察を行いました。
 今回の研修は、若手県が進める花巻空港定期便就航に向けた「台湾との秋季チャーター便」の利用促進に賛同したものです。台湾から葛巻町への誘客活動を行うとともに台湾が進めるクリーンエネルギー政策をはじめとする産業や文化活動を視察し、今後の交流に大きな期待が持てる研修になりました。

○ 主な視察先 ○

- 省エネルギーの取り組み…
金陵女子高級中学
- 葛巻町への誘客活動…
台湾観光・旅行者との懇談
一滴水記念館
- 日本人先人の業績…
烏山頭ダム 台湾製糖博物館
台湾鉄道集集線 台湾新幹線
台湾総督府
- 台湾文化…
日月潭国家風景区
国立故宮博物院 忠烈祠

学校ぐるみで節約の徹底

エネルギーの説明では、和やかな雰囲気の中で、通訳を交えて次のような取り組みが紹介されました。

同中学は、台湾最初の学校省エネシステム導入施設で、台湾政府がその省エネ成果を期待してい

るとのこと。

システム導入の目的は、省エネ意識と安全確保の向上、そして二酸化炭素排出量の抑制強化で、人が使うところは明るく、いないところは消すという原則のもと、ゆくゆくは各家庭まで普及



体育の授業中に笑顔で迎えてくれた中学生

今回の視察先のひとつは、省エネ実践活動を学校で展開している新北市の私立「金陵女子高級中学」です。

校門をくぐると理事長、校長をはじめ生徒の皆さんから熱烈な歓迎を受け、万国旗を飾りつけた会議室へと案内され着席。始めに、第二外国語として日本語を学んでいる生徒から上手な日本語で歓迎の挨拶と心に響く合唱のおもてなしがありました。

町の「山村留学」も紹介

校長の学校概要説明があった後、中崎議長から「東日本大震災で台湾の皆さんからいただいた大きな支援に感謝します。また、葛巻町にある小さな高校では、全国、世界から留学生を募集しています。町の施設などに宿泊してミルクやワイン、クリーンエネルギーの勉強ができますので、この学校からぜひ葛巻高校に来てください」と紹介を含めお礼の挨拶を述べました。

推進したいとの説明。

校内2千本の蛍光灯照明は全てLED化し、自動コントロールされ、年間の省エネ数値化を図り節約の徹底を学校ぐるみで実施。このような中でも特に女子生徒の安全確保と学校保全には不安が生じないよう万全の対策を講じているとのこと。エネルギー使用状況を把握し、情報を有効に活用するため自動記録管理方式を採用。この省エネシステムにより60%以上の節約と二酸化炭素排出量は93トンに抑えられるとの説明がありました。

現場視察では、教室、トイレ、地下駐車場などの校内省エネシステムを見学。最後に視察交流を記念し、出席した学校関係者、生徒の皆さんと一緒に写真に収まり学校を後にしました。



日本語の歌で大歓迎された議員

台湾 視察



忠烈祠

～ 葛巻町への誘客活動・日本人先人の業績と台湾文化 ～

葛巻町への誘客活動

「行くなら岩手・葛巻」

研修を終えて

朝ホテルから眺める街並みは近代ビルが林立し、大都会の様相。街中のビルや道路沿いに大きな人物写真が、ところ狭しと豪快に掲げられていました。11月29日投票の市長、市議会委員など2万人を選ぶ全国統一地方選挙のポスターと聞き、これにはビックリ唖然としました。

金陵女子中学の視察では、省エネの取り組みにより地球温暖化対策をさらに後押しできることが確認できました。

台湾は、東日本大震災の義援金も200億円以上で世界一の支援国です。それらは台湾の近代化に貢献した日本人、さらには岩手県人の心血が注がれた証であったからこそと思えてなりません。

議会は、この研修を契機に今後ますます花巻空港の定期便就航と岩手と台湾、台湾と葛巻の交流が実現するよう取り組んでまいります。

今 日の台湾の近代化に つながるさまざまな 基盤の整備に、日本人の 活躍がたくさんあること を再認識した研修でもあ りました。

その一人は八田與一技 師です。

八田技師は、台湾の日本統治時代の1920年から10年の歳月をかけて東アジア最大の烏山頭ダムを建設しました。嘉南平野約60平方キロメートルの広大な大地を、台湾最大の穀倉地帯に変えたのです。56歳で亡くなるまでほぼ全生涯を台湾の



選挙の大型ポスターや通勤のバイクで賑わう台中市内

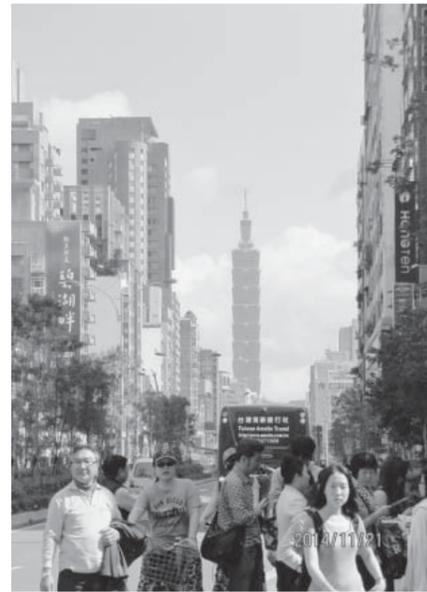
台 湾研修ではこのほかに、日本の新幹線システムを採用して2007年に完成した台湾高速

鉄道や世界4大博物館のひとつ故宮博物院など多くの台湾文化に触れた研修となりました。

多くの台湾文化を経験

造の業績を紹介している博物館を視察。新渡戸稲造は、同じ岩手県出身の台湾総督府の後藤新平民

生長官から招かれ、製糖指導により砂糖を台湾の最重要輸出品にまで成長させた人です。



大きなビルが林立する台北市中心街。奥は台湾で一番の高層ビル101。

台湾の近代化に寄与

ために尽くしたことで、最も知られる日本人と言われている。

台湾製糖博物館も日本人と深い関わりのあるものでした。

台湾の製糖発展に功績のある台湾総督府臨時糖務局長であった新渡戸稲

旅行・観光関係者と交流

今 回の視察で最も力を入れたひとつは、台湾の旅行や観光関係者との意見交換会です。

台北市にある大手旅行業者や日本から現地に赴いている台湾支店の職員など8人に集まっていたきました。

鈴木満議員と山岸はる美議員が葛巻町の取り組みや観光スポットを紹介。「ミルクもワインもあれば、クリーンエネルギー

もある葛巻にどうぞいらっしやい」と締めました。

参加者の假日旅行社股份有限公司の王振銘理事長は「台湾からの旅行者は、中国に次いで日本が2番目に多い。行くなら日本」と人気の高さを紹介。交換会を企画運営した日盟国際商務有限公司の黄玉雲さんも「多くの観光資源とエネルギーがある葛巻町へ案内してく



台湾の関係者に葛巻町を紹介する鈴木・山岸両議員

高らかに呼びかけました。参加者は日本語もうまく、気軽に会話ははずみ、岩手と台湾、葛巻町と台湾の交流が始まることに大きな期待が寄せられました。

町のエネルギーを紹介

淡 水区和平公園内にある「一滴水記念館」を訪れました。

この施設は、福井県大飯町に1915年に文豪「水上勉」の父・覚治が棟梁として自ら建築した木造の古民家を移築したものです。

阪神大震災と台湾の921震災の大地震をきっかけに、台湾と日本の約5000人のボランティアの助けを借り、5年の

歲月をかけて完全移築された施設です。台湾と日本の思いが詰まった施設でした。

また、当日は台湾の皆さんが大勢集まっていた中、館長からの要請で、急きよ中崎議長が本町のクリーンエネルギーの取り組みを説明することに。多くの質問が出るなど深い関心を寄せていました。今後の交流が期待される交流会となりました。

日本から移築された古民家「一滴水記念館」

